

## 志士庫コミュニティステーションにおける銅線窃盗事件の発生について

### 1. 事件の概要

令和7年4月に開設した志士庫コミュニティステーションにおいて、令和8年1月30日（金）の夜間に何者かが電柱上のPAS（気中負荷開閉器）を操作し停電させ、高圧受変電設備等を損壊、銅線ケーブルを切断し持ち去った。同年2月5日（木）に土浦警察署に被害届を提出し、同署で窃盗事件として調べている。

### 2. 被害の状況

#### (1) 志士庫コミュニティステーション

- ア 銅線ケーブルの盗難 約187メートル（130万円相当）
- イ 窓ガラスの破損 1枚
- ウ 高圧受変電設備内部の損壊（ケーブル切断など）

#### (2) 旧志士庫小学校

- ア 校舎裏口ドアの損壊 1枚
- イ 体育館窓ガラスの破損 1枚



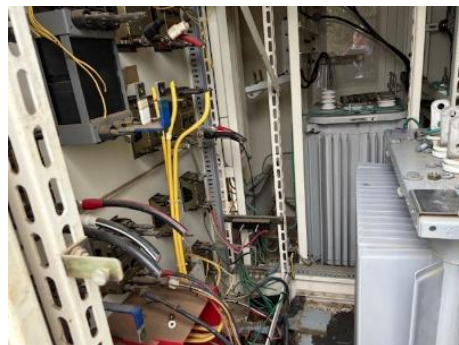
銅線が抜き取られた  
カバーの残骸



開けられたマンホール



会議室Cの窓ガラスの破損



高圧受変電設備内部の損壊



校舎裏口ドアの損壊



体育館窓ガラスの破損

### 3. 当面の対応策

被害に遭った施設含め全コミュニティ施設について、速やかに次のとおり対策を講じることとする。

- ◆ 職員による全コミュニティ施設の巡回を強化すること。
- ◆ 防犯カメラについて、増設の検討や設置位置の見直しを行うこと。
- ◆ 被害施設の貸し出しについては、当面の間、中止とし、安全に使用できるよう修繕を行うこと。
- ◆ 被害施設の再開に向けて、高圧受変電設備を介さず、低圧電力の引き込みを検討し、再犯防止とともに、できる限り早期の復旧を目指すこと。

### 4. その他（投票所の開設について）

2月8日（日）執行の衆議院議員総選挙となっていたA棟施設の内部は、直接の被害を受けていなかったため、照明及び暖房機（ブルーヒーター）の電源を仮設の発電機によりまかなうとともに、仮設トイレを設置し予定どおり投票所を開設した。